様式第９号（第１０条関係）

| 団体名 | 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン |
|---|---|

令和　7 年度　寄附金活用実績報告書

| | |
|---|---|
| 事業の区分<br>（該当へ☑してください） | ☑団体支援型　□テーマ指定型　□自由提案型 |
| 実施期間 | 令和 7 年 11 月 20 日　～　令和 8 年 3 月 31 日 |
| 寄附活用実績額等 | 寄附目標額：　10,000,000 円<br>寄附実績額：　2,125,000 円<br>収入総額　：　6,306,875,285 円<br>その他収入：　6,305,005,285 円 |
| 事業内容 | ・神石高原町から、国内外で起こる紛争・自然災害により被災した地域に迅速にスタッフが出動し、物資・医療支援をはじめ、能力開発や教育支援など、現地の人々の状況に合わせ支援を届けた。<br>・神石高原町内においては地域との連携を強化し、地域医療への貢献や防災、農業分野を含む地域創生事業の強化を図った。犬保護事業では日本国内での犬の「殺処分ゼロ」へ向けた基盤をより強化した。 |
| 実施事業の成果・効果 | ・発災直後の支援について、緊急期から迅速に出動し、被災地に必要とされる支援を届けることが出来た。また、平時からあらゆる場面を想定した訓練や資機材の準備を重ね、被災地への支援に迅速に対応することができた。<br>・神石高原町をはじめ周辺地域住民の健康を守るため、既存の専従医療チームにあらたな人員が加わり、防災/健康促進のイベントの実施など地域への貢献を強化した。<br>・犬の保護、譲渡事業で他県との協力関係を強化したことにより、他県でも殺処分機の稼働を止めることができた。また、2024 年 12 月に開始した尾道刑務所等での保護犬育成プログラムなど、社会貢献活動を強化することができた。 |

※様式第 9 号、第 10 号の寄付実績額・事業費等および収支の内訳は、令和 7 年 2 月-令和 8 年 1 月の会計年度の決算に基づく。

様式第１０号（第１０条関係）

| 団体名 | 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン |
|---|---|

令和７年度　収支決算書

| 事業の区分 | | ☑団体支援型　□テーマ指定型　□自由提案型 | |
|---|---|---|---|
| 事　業　名 | | 海外事業、災害支援事業、保護犬事業、地域創生事業 | |
| 項目 | | 金額（円） | 内容・内訳計算（単価×数量） |
| 収入 | 交付金交付申請額 | 1,870,000 | ふるさと納税による神石高原町への寄付金の 88% |
| | 寄付金（会費を含む） | 2,968,594,322 | 会費、寄付金 |
| | その他事業収入 | 233,002,103 | 業務委託料、原稿講演料、商品売上高等 |
| | 受取助成金 等 | 2,582,401,498 | 受取民間助成金、受取補助金、国連補助金、他事業ふるさと納寄付金 |
| | 前年度繰越金 | 521,007,362 | |
| | 収入計 | **6,306,875,285** | |
| 支出 | 人件費 | 1,901,482,653 | 給料、賃金、法定福利費、福利厚生費等 |
| | 直接事業費 | 1,594,631,893 | 食料配布、シェルター支援、水・衛生支援、保健・医療支援、農業支援、犬養育費等 |
| | 地代家賃 | 230,841,090 | |
| | 事務所・施設維持費 | 253,692,415 | 事務所維持費、水道光熱費、修繕費 |
| | 車両維持費 | 73,260,945 | 車両維持費、燃料費、車両レンタル |
| | 商品仕入れ高 | 101,901,823 | |
| | 通信・運搬費 | 70,947,811 | 通信費、運搬費 |
| | 旅費交通費 | 220,388,396 | |
| | 広報啓発活動費 | 501,782,510 | 広報啓発活動費 |
| | その他事務管理費用 | 640,395,820 | 機材維持費、リース料、その他レンタル、その他維持費、事務用品費、事務用備品費、医療衛生費、消耗品費、保険料、コピー印紙代、図書費、研修費、会場費、会議費、租税公課、手数料、他事業ふるさと納税お礼関連支出　等 |
| | 外注費 | 583,038,750 | 外注費、報酬 |
| | 減価償却費 | 134,498,945 | |
| | ふるさと納税お礼関連費用 | 12,234 | |
| | 支出計 | **6,306,875,285** | |

※様式第９号、第 10 号の寄付実績額・事業費等および収支の内訳は、令和７年２月－令和８年１月の会計年度の決算に基づく。